

発刊日 令和1年9月18日

奈良体育学会会報

第84号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良教育大学 保健体育講座 （〒630-8528 奈良市高畑町）

学会大会案内号

今回の会報では、11月23日（土）に予定されている研究大会案内が主な内容となっています。また、理事会報告（平成30年度第3回理事会、令和1年度第1回・2回理事会）も掲載しています。

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 奈良教育大学 高橋豪仁

厳しい残暑も漸くおさまり、夜は虫の音が聞こえる秋の季節となってまいりました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。ワールドカップラグビーの開催を目前に控え、2020東京オリンピック・パラリンピックも来年に迫って来ました。多くの人々が世界レベルのスポーツの祭典を楽しみにしていることと思います。国際大会であるが故に、メディアはナショナリズムをスポーツに投影し、見る人々も国を意識してスポーツ観戦をすることとなります。本年度の学会大会の公開シンポジウムは、こうした国レベルのスポーツではなく、もっと身近な地域レベルの「見るスポーツ」に注目します。そうした地域に根ざした「見るスポーツ」がどのような「チカラ」（＝社会的機能など）を持ち得るのかを一緒に考えたいと思います。是非とも、多くの方々のご参加をお願いいたします。

令和1年度奈良体育学会大会のお知らせ

開催要領

期 日： 令和1年11月23日（土）

会 場： 奈良女子大学・生活環境学部 E棟1階 E108、109 教室

日 程： 12：00 ～ 受付

12：30 ～ 総会、一般研究発表、公開シンポジウム

17：30～ 懇親会（場所未定）

（演題数により変更があります。午前中から実施することもあります。）

公開シンポジウム

テーマ：「スポーツの力 ～ 地域に根ざすトップスポーツの役割」（仮題）

趣旨：

1993年のJリーグ開幕以降、プロ野球独立リーグやbjリーグ（現、Bリーグ）など、日本各地に地域密着型のプロスポーツチームがつくられました。もはや一過性のブームではなく、日本においてプロスポーツが地域の文化的公共財となっていると言えます。なぜこれ程多くのプロチームがつけられ、それらが存在し得るのでしょうか。

地域のプロスポーツチームは、試合の興行を行うだけでなく、スポーツ教室をサポートしたり、地域のイベントに参加したりします。こうした共益的な活動ゆえに、行政はもちろん、スポンサーとして企業も支援をすることとなります。プロスポーツチームの存在は、見るスポーツやするスポーツのプロモーションだけでなく、住民・企業・行政の協働を引き起こす触媒となっており、教育のみならず産業、観光、情報発信（広報）の領域をも巻き込んで、その地域の活性化に貢献するものとなっていると言えるでしょう。

そこで、本年度のシンポジウムでは、Jリーグ入りを目指している「奈良クラブ」の役員、奈良クラブがホームタウンとしている奈良市のスポーツ振興担当者、スポーツマネジメントを専門とする研究者にご登壇いただき、地域に根ざすトップスポーツがどのような社会的役割を果しえるのかを検討します。

シンポジスト：

矢部 次郎 氏 （株式会社奈良クラブ代表取締役副社長／NPO 法人奈良クラブ理事長）

長 香里 氏 （奈良クラブ ホームタウン担当）

阪口 一志 氏 （奈良市 スポーツ振興課）

稲葉 慎太郎 氏 （天理大学）

参加申し込み・研究発表申し込み

申し込み期限 : 令和1年10月25日(金)

申し込み先 : 〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学保健体育講座 井上邦子 宛

電話・fax 0742-27-9230

Eメール : kinoue@nara-edu.ac.jp

<発表申し込み様式など>

- * 研究発表をされる方は、「発表者(共同研究者を含む)」「テーマ」、それに「約100字程度の内容説明」「キーワード(3語)」をつけてください。
- * 「奈良体育学会大会参加・発表申し込み用紙」(別紙)をお使い下さい(ファックス/郵送)。あるいは、必要項目をメールで事務局にお知らせ下さっても結構です。
- * 発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、研究年報に抄録の投稿をお願いします。また、可能な限り「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。

<プログラム・大会要項など>

詳細なプログラムの内容や学会大会要項につきましては、次回会報でご案内致します。

研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

締め切り : 令和2年2月1日(土)【消印有効】

提出先 : 奈良体育学会事務局

(〒630-8528 奈良市高畑町奈良教育大学保健体育講座 井上宛 E-mail:

kinoue@nara-edu.ac.jp)

※ **CD-ROM**などの媒体と(添付ファイル可)、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。

折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

誌上発表論文書式 : 用紙A4、40字×40行 一段組、図表ともで4~6枚、上下左右の余白を20mm(過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。また、日本体育学会投稿規定に準じ、学生・大学院生の方は指導教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

発表抄録書式(今年度の大会発表者用) :用紙 A4 で 1 枚 (図表込み)、本文は 2 段組でお願いします。
 文字は、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。
 また、キーワード (9 ポイント) を所属と本文の間に 3 語で入れてください。

原稿作成見本および詳細は以下の URL にありますので、ファイルにアクセスして作成してください。

<http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~takahasi/syoroku.docx>

令和 1 年度 奈良体育学会大会 会場案内図

会場
E108
E109

① 正門・守衛室 (重要文化財)
Main Gate・Guardroom (Important Cultural Property)

② 記念館 (重要文化財)
Memorial Hall (Important Cultural Property)

③ 本部管理棟
Administration Hall

④ 講堂
Auditorium

⑤ 文学系N棟・国際交流センター
N Hall (Faculty of Letters) International Exchange Center

⑥ 文学系S棟
S Hall (Faculty of Letters)

⑦ 理学系A棟
A Hall (Faculty of Science)

⑧ 理学系B棟
B Hall (Faculty of Science)

⑨ 理学系C棟
C Hall (Faculty of Science)

⑩ 理学部G棟
G Hall (Faculty of Science)

⑪ 生環系A棟
A Hall (Faculty of Human Life and Environment)

⑫ 生環系D棟
D Hall (Faculty of Human Life and Environment)

⑬ 生環系E棟
E Hall (Faculty of Human Life and Environment)

⑭ 大学院E棟
E Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)

⑮ 大学院F棟
F Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)

⑯ 総合研究棟H棟・臨床心理相談センター
H Hall (Integrative Projects Research) Center for Clinical Psychology

⑰ 大学ラウンジ
Lounge

⑱ 学術情報センター
Academic Information Center

⑲ 保健管理センター
Health Care Center

⑳ 学生会館
University Union

㉑ R・I 総合実験室
R・I Composite Laboratory

㉒ 第1体育館
Gymnasium 1

㉓ 第2体育館
Gymnasium 2

㉔ 文化系サークル共用施設
Club House

㉕ 音楽棟
Music Hall

㉖ 課外活動サークル施設
Facilities for Extracurricular Activities

㉗ 合宿所
Training Camp House

㉘ 埋蔵文化財調査室
Archaeology Research

㉙ 寄宿寮・国際学生宿舎
Dormitory/International Student House

㉚ 佐佐会館 (同窓会)
Alumni Hall

㉛ 国際交流会館
International House

㉜ 国際交流プラザ
International Plaza

㉝ コラボレーションセンター・共生科学研究センター
Collaboration Center KYOUSEI Science Center for Life and Nature

A 総務・企画課、財務課、施設企画課
General Affairs and Planning Division, Financial Division, Facility Planning Division

B 国際課
International Division

C 研究協力課
Research Cooperation Division

D 学生センター
Center for Student Services
学務課 (2階)
Educational Affairs Division
学生生活課、入試課 (1階)
Student Support Division, Entrance Examination Division

E 学術情報課
Library and Information Division

理事会報告

I. 平成30年度 奈良体育学会第3回理事会議事録

日時：2018年11月23日（金）午前11時15分～12時00分

場所：奈良女子大学 スポーツ健康科学共同研究室

出席：高橋（会長）、笠次（理事長）、井上邦、井上洋、立、中谷

欠席：高田（敬称略）

○報告事項

1. 会員の把握、メーリングリスト、大会規定、等について

○審議事項

1. 新入会員および退会の承認

〈入会〉

- (1) 日本体育学会会員（奈良地域会員）：3名

稲葉慎太郎（イナバ シンタロウ）天理大学体育学部

大沼勇人（オオヌマ ハヤト）国立スポーツ科学センター

前田和良（マエダ カズヨシ）大阪経済大学

- (2) 奈良地域新入会員：0名

〈退会〉平成29年度（2018年11月23日現在）

出水典子、穴井善博、備前嘉文、増田たまみ、吉田寿、飯田あや、中西茂巳、藤後あさみ、山口真紀

2. 平成30年度 奈良体育学会総会議事の承認

3. 学生・若手研究奨励賞について

選考内規が承認され、平成30年度の審査委員会委員（井上洋一（委員長）、立 正伸（副委員長）笠次良爾、井上邦子）が選定された。

II. 令和元年度 奈良体育学会第1回理事会議事録

日時：2019年6月10日（月）午後6時～7時30分

場所：奈良教育大学理科 2 号棟 2 階 保健体育学生演習室 (R2-228)

出席：高橋（会長）、笠次（理事長）、井上邦、井上洋、立、中谷

欠席：高田（敬称略）

○報告事項

1. 日本体育学会第 1 回地域協力学会連絡会議について

中谷理事より日本体育学会 2018 年度第 1 回地域協力学会連絡会議について、奈良体育学会会員数は 112 名であり、助成金は 68,359 円であることが報告された。

2. 研究年報の訂正について

会員より平成 30 年度研究年報における修正の申し出があり、令和 1 年度年報発送時にページの差し替え用紙を同封することとなった。

○審議事項

1. 令和 1 年度の学会大会、総会について以下の通り日時と場所が決定された。

期日：2019 年 11 月 23 日（土）

場所：奈良女子大学 研究棟生活環境科学系 E108, 109 教室（控室として E107 室）

内容：一般発表、シンポジウム等、詳細については今後検討することとなった。

2. 平成 30 年度決算 別紙のとおり会計報告がなされ、承認された*。

平成 30 年度奈良体育学会一般会計報告書

H31.4.1

<収入>

(単位 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	172,500	172,500	0	115 名分(H31 分 1 名、H29 分 1 名)
補助金	68,000	68,000	0	本部より
学会大会参加費	19,000	21,000	△ 2,000	一般 15 名(1000 円)、大学院生 12 名(500 円)
雑収入	0	0	0	
利子	0	1	△ 1	
当期収入合計	259,500	261,501	△ 2,001	
前年度繰越金	190,481	190,481	0	
合計	449,981	451,982	△ 2,001	

<支出>

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	20,000	15,091	4,909	
事務費	10,000	3,836	6,164	
通信費	80,000	56,289	23,711	
学会大会・例会費	80,000	6,240	73,760	
研究年報作成費	150,000	132,742	17,258	
アルバイト料	20,000	0	20,000	
講演謝礼	30,000	0	30,000	
予備費	59,981	0	59,981	
当期支出合計	449,981	214,198	235,783	
次年度繰越金	0	237,784	△ 237,784	
合計	449,981	451,982	△ 2,001	

平成 30 年度奈良体育学会基金報告書

H31.4.1

(単位 円)

前年度繰越金	収 入		支 出	現在高	備 考
	積立金	利息			
300,000	0	0	0	300,000	H31.3.31 現在高

令和元年 7 月 11 日

会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

梅崎さゆり

令和元年 7 月 11 日

会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

蓬田高正

※なお、一部数値が令和 1 年度奈良体育学会第 2 回理事会（2019 年 7 月 29 日開催）において修正され、承認された。

（報告書正本におきましては、監査の方々に自筆サインと押印をいただいております）

3. 令和1年度予算

事務局から原案を提示し、下記のとおり承認された※。

令和1年度 奈良体育学会 予算

[一般会計]

<収入>

前年度繰越金	¥237,784	
会費	¥172,500	H30 年度年度会費及び入会金納入者金額相当
補助金	¥68,000	本部より配分予定
大会参加費	¥21,000	H30 年度学会大会参加費金額(一般 1000 円, 学生 500 円)相当
雑収入	¥0	
利子	¥0	
合計	¥499,284	

<支出>

会議費	¥20,000
事務費	¥10,000
通信費	¥100,000
学会大会・例会費	¥100,000
研究年報作成費	¥150,000
アルバイト料	¥20,000
講演謝礼	¥30,000
予備費	¥69,284
合計	¥499,284

※なお、一部数値が令和1年度奈良体育学会第2回理事会（2019年7月29日開催）において修正され、承認された。

4. 新入会員の承認

<入会>

(1) 奈良地域新入会員:2名

- ・王 思涵 (おう しかん) (奈良教育大学大学院)
- ・栗飯原 真央 (あいはら まお) (奈良養育大学大学院)

5. 次回理事会開催日

2019年7月29日(土)18時より奈良教育大学で開催することが承認された。

Ⅲ. 令和1年度 奈良体育学会第2回理事会 議事録

日時: 令和1年7月23日(月)午後6時~7時30分

場所: 奈良教育大学理科2号棟2階 保健体育学生演習室

出席者: 井上邦子、井上洋一、笠次良爾、高橋豪仁、立正伸、中谷敏昭

欠席者: 高田 (敬称略)

○審議事項

1. 平成30年度会計報告承認

前回理事会で報告された会計報告を一部修正したものが承認された。

2. 令和1年予算案承認

前回理事会で報告された予算案を一部修正したものが承認された。

3. 学会大会シンポジウムについて

高橋理事長より、プロスポーツの活動状況と地域振興をテーマとして、バンビシヤス奈良、奈良市スポーツ振興課、スポーツ経営学研究者などから登壇していただきシンポジウムを開催する案が提案され、承認された。

4. 「学生・若手研究奨励賞」について

学会発表者の人数によって、奨励賞受賞者の人数を増やす案が提案され、今年度発表申し込み状況を加味したうえで、次回理事会で審議することが承認された。

5. 会費納入について

学会発表を行う会員が会費を納入済みかどうか確認する必要がある旨が確認された。特に、大学院生などは、各大学指導教員などで会費納入を確認することとなった。

6. 次回理事会

奈良女子大学において、2019年11月23日(土) に学会大会前に開催することが承認された。

※ 日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和1年度の年度会費をお納め下さい。年会費は1,500円です。

なお、2年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169

加入者名 奈良体育学会

令和1年度 奈良体育学会大会参加・発表申込用紙

氏名(所属)	()
--------	-----

参加希望 (※該当する方に○印を記入してください)

学会大会に	→	参加する		参加しない
研究発表を	→	する		しない
懇親会に	→	参加する		参加しない

一般発表をされる方は、以下に記入願います (一題一葉で)。

演題名	
発表者氏名(所属) 【連名で発表の場合は演者に○印】	
連絡先	
住所〒 _____	TEL _____ ()
氏名 _____	FAX _____ ()
E-mail _____	
発表要旨(100字程度) [キーワード: _____]	
発表時に使用する機材(該当番号に○印)	
1. 使用しない 2. パワーポイント 3. ビデオ(VHS) 4. その他 ()	